

■■■ 福祉社会学会ニューズレター 第20号 ■■■
Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.20

http://www.soc.nii.ac.jp/jwsa/
E-mail: ws@univcoop.or.jp

***** INDEX *****

- 福祉社会学会・第8回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について（2月10日締切）
- 福祉社会学会・第8回大会・自由報告の募集について（3月20日申込締切予定）
- 会費値上げ延期の試み
- 理事会報告
- 新入会員など紹介
- 事務局からのお願い

■福祉社会学会・第8回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について

福祉社会学会・第8回大会（2010年、開催校＝九州大学）では、前回大会に続き、テーマセッションを公募することとなりました。

テーマセッションにおいては、一般性の高いテーマを扱うシンポジウムとは異なり、コーディネーターの方を中心に福祉社会学における特定のテーマを多様な角度から議論していただきます。このテーマセッションのテーマとコーディネーターを下記の要領で募集します。

大会は2010年5月29日（土）・30日（日）、九州大学箱崎地区文系キャンパス（福岡市東区箱崎6丁目-19-1）にて開催される予定です。なお、部会編成の都合上、発表日時のご希望には応じかねますのでご了解ください。

- ①テーマセッションは、今号ニューズレターでテーマとコーディネーターを募集し、採択されたテーマについて2月中旬発行予定のニューズレターで報告者の募集を行い、コーディネーターの調整によって報告者を決定して設置されるものです。調整の結果不採択となった場合や、部会が成立しなかった場合も、報告希望者は大会の他の自由報告部会で報告していただくことができます。
- ②コーディネーターには、報告者・報告順の決定に加え、当日の司会を行なっていただきます。テーマ採択の決定、報告者の募集などについて来年2月中旬にお知らせします。テーマセッション報告の応募の締めきりは2010年3月20日（土）の予定です。
- ③コーディネーター希望の方は、下記の事項を電子メールで、2010年2月10日（水）までに、担当研究委員・鎮目真人（立命館大学）まで以下の様式とともにご連絡ください。

●テーマセッション・コーディネーターの申込み事項

- ◆氏 名
- ◆所 属
- ◆連 絡 先 （住所・電話番号・電子メールアドレス）
- ◆テ ー マ （そのまま部会名となります）
- ◆部 会 趣 旨（800字程度。採択された場合は、そのまま報告者募集のニューズレターに報告者募集用原稿としてそのまま掲載されます。）

電子メールあて先：担当研究委員・鎮目真人（立命館大学）
shizu@fc.ritsumei.ac.jp

※テーマセッション申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信しますので、2010年2月15日（月）までに返信がない場合は、上記のメールアドレス、または、鎮目研究室 TEL075-466-3091（直通）までご連絡ください。

■福祉社会学会・第8回大会 自由報告の募集について

先に申し上げたとおり、第8回大会は2010年5月29日（土）・30日（日）に九州大学で開催されますが、例年通り自由報告を募集します。本大会における自由報告の申し込みは、2月20日頃に発行する学会ニューズレターにて説明を行い正式に募集いたしますが、申込書の提出締め切りが2010年3月20日（土）、予稿集の締め切りが2010年4月9日（金）の予定です。なお、申し込みは電子メールのみの受け付けとなりますので、あらかじめご了解ください。

また、電子メールでニューズレター配信を受けておられる会員の方々には、2月20日頃に発行する学会ニューズレターは通常どおりメール配信のみとなります（郵送されません）。自由報告申し込みを検討される場合は、この時期のメールおよび本学会のホームページにご注意いただき、締切などのお見落としのないようお願いいたします。学会ホームページのURLは次の通りです。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jwsa/>

■会費値上げ延期の試み

福祉社会学会会員のみなさま

2009年12月に開催されました理事会におきまして、学会財務担当より会費値上げ延期の試みを提案し、賛同を得ました。福祉社会学設立の初心に戻りまして、大会開催時等での経費節約の観点から学会会計の見直しを行いました。その結果、会費の値上げをとりあえず1年延期することをお認めいただきたくお願い申し上げます。みなさまには経費節約のため大会時でのセルフサービスに努めるなど、ご協力いただくことになると思います。どうかよろしくご検討のほど、お願いいたします。

福祉社会学会会長 武川正吾
財務担当理事 白波瀬佐和子

■理事会報告

●09年度・第2回理事会の議事録

日時：2009年12月23日（水）14時～18時20分

場所：東京大学 法文1号館 115教室

出席者：武川、藤村、三重野、稲葉、山田、後藤、鎮目、鍾、白波瀬、高野、永井、平岡、牧里、立岩（委任状）、神山（事務局広報）

●報告事項・審議事項

- 第8回大会（2010年度）・第9回大会（2011年度）大会について
 - 第8回大会開催校（九州大学、箱崎地区）の高野理事から挨拶があり、開催日程を2010年5月29,30日とすることが承認された。
 - 第9回大会開催候補校（東北大学）の永井理事から挨拶があり、開催が承認された。
- 第7回大会（2009年度）の結果報告について

- ・後藤理事より以下の報告・提案がなされ、審議が行われた。
 - ①第7回大会（日本福祉大学）の結果について報告がなされ、収支報告書が承認された。
 - ②大会プログラムや予稿集における報告者所属の表記の統一について提案がなされ、次回大会担当の高野理事と研究委員会で検討することを決定した。
- 3. 研究委員会の活動報告、検討事項
 - ・高野理事より、第8回大会、開催校企画として「(仮) インドネシア看護師・介護福祉士候補者の受け入れの現状と課題」、シンポジウムとして「(仮) 小規模高齢化集落（いわゆる限界集落）の課題と持続可能性」のテーマが原案として提案され、承認された。
 - ・山田研究委員長より以下の報告・提案がなされ、審議が行われた。
 - ①第8回大会に会長講演を入れることが提案され、承認された。
 - ②第8回大会において書評セッションなどの特別企画を検討していることが報告された。
 - ③第8回大会におけるテーマセッションのテーマ募集の締切を2月10日、自由報告などの募集締切りを3月20日、次期委員会開催を4月3日、予稿集原稿締切りを4月9日とすることが提案され、承認された。
 - ④自由報告の質確保のため賞を設けるなど対応を検討すべきことが提案され、研究委員会を中心に引き続き検討することを決定した。
 - ⑤第26回研究会は、09年11月7日に名古屋大学大学院環境人口論と共催で名古屋大学において開催したことが報告された。
 - ⑥昨年度開催の若手応援プロジェクトは好評であり今年度も3月13日に開催予定であることが報告された。
- 4. 編集委員会の活動報告、検討事項
 - ・稲葉編集委員長より以下の報告・提案がなされ、審議が行われた。
 - ①『福祉社会学研究』7号の編集進捗状況については、13本の投稿があり、今年度中に刊行の見込みであることが報告された。
 - ②『福祉社会学研究』における書評等の紙幅を増すため、ホームページにも掲載されている「会則」・「研究一覧」を削除し、「バックナンバー目次」を前号分のみにする方向で出版社と協議することが提案され、承認された。
 - ③編集事務のオンライン化を促進できるよう、投稿規定や執筆要項を変更することについて、委員会で今後検討することが報告された。
 - ④将来的な電子ジャーナル化を念頭に、著作権に関する規定を変えることについて、委員会で今後検討することが報告された。
 - ⑤会費未納の会員の雑誌投稿要件について規定を設けることを、委員会で今後検討することが報告された。
 - ⑥視覚障害者への対応のため、『福祉社会学研究』のテキストファイルでの販売が可能かどうかを出版社に打診することが了承された。
- 5. 社会学系コンソーシアムの活動報告
 - ・平岡コンソーシアム理事より以下の報告・説明がなされ、審議が行われた。
 - ①09年7月4日に社会学系コンソーシアムの第1回評議会が開催され、役員を選出、会計報告の承認がなされたことが報告された。
 - ②「JCSS Newsletter 第2号」・「社会学系コンソーシアム通信第5号」が発行されたことが報告された。
 - ③第二回社会学系コンソーシアム・シンポジウムは10年1月23日に開催であり、報告者として須田木綿子会員を推薦したことが報告された。
 - ④コンソーシアムからの「事業仕分け」に関する要望書提出の呼びかけについて説明がなされ、審議のうえ要望書に賛同することを決定した。
- 6. 社会政策関連学会協議会の活動報告
 - ・三重野協議員より以下の報告・説明がなされ、審議が行われた。
 - ①政策関連学会協議会協議員会が09年12月18日に開催されたことが報告された。
 - ②次回の公開シンポジウムは学術会議包摂分科会との共催で10年6月5日に開催することが報告された。
 - ③上記協議員会において、福祉社会学会企画の若手研究者研究支援企画に、協議会に加わる学協会の若手も参加できるようにしてほしいとの要望があるとの説明がなされ、審議のうえ要望を受け入れることを決定した。
- 7. 倫理綱領の策定について
 - ・武川会長より、「福祉社会学会倫理綱領（案）」について説明があり、一部を修正することを決定した。
 - ・この修正案について、会員からパブリック・コメントを求めた後、総会での承認を得る方向で作業を

進めることを決定した。

8. 学会賞の策定について

- ・三重野庶務理事が小林学会賞担当理事の代行を務め、「福祉社会学会賞規定（案）」について説明を行い、審議のうえ、その一部を修正し総会に諮ることを決定した。

9. 学会会計の見直しについて

- ・白波瀬財務担当理事より以下の説明・提案がなされ、審議が行われた。
 - ① 武川学会長より、当面、経費削減に努めて、学会費値上げの据え置きを試みたい意向を受け、学会会計の見直しを行った。
 - ② 2009 年度予算を検討した結果、まず、学会開催補助金の見直しが提案された。他学会（日本家族社会学会、都市社会学会、数理社会学会）の事例も参考にしつつ全体予算規模を考慮し、大会補助金を原則 10 万円とすることを提案し、賛同を得た。ただし、大会開催に伴い赤字が発生した場合には、学会側から補填する。
 - ③ 大会開催にあたっては、大会参加費をもって賄うよう努めること、大会委員長は事前に予算案を幹事会に提出し承認を得ることが合意された。
 - ④ 諸経費削減につとめ、会費は当面 5,000 円に据え置くことが決定された。

10. 会則・規程の改正について

- ・三重野庶務理事より、福祉社会学会役員選出規程 第 2 条、及び、福祉社会学会会則第 12 条（役員の任期）3. に関する規程整備について説明がなされ、審議のうえ、改定案を基本にさらに検討し、次回理事会で協議することを決定した。

11. 会員状況、新規入会者等について

- ・三重野庶務理事より、会員状況・新規入会者等について、会員数 456 名、入会 10 名、退会 1 名、3 年分会費未納者 4 名などの報告がなされた。3 年分会費未納者については、今年度 3 月までに会費納入がない場合は退会扱いとすることが提案され、承認された。

12. その他

(1) 協賛・共催の基準について

- ・三重野庶務理事より、福祉社会学会が他団体の企画等に協賛・共催する基準について審議が求められ、「福祉社会学会の趣旨にあう学術的な企画の場合」に協賛すること、そのさい費用負担をともなう場合は理事会であらためて判断すること、共催はケース・バイ・ケースで対応することを決定した。

(2) 次回理事会・幹事会の日程

- ・次回理事会は 10 年 5 月 29 日(土)、10 時～開催予定とすることを決定した。

■新入会員など紹介

(Web 版では省略)

■事務局からのお願い

住所変更や Email のアドレスを変更した場合は、必ず大学生協・学会支援センター・福祉社会学会担当宛（学会のメールアドレス先）にお知らせください。年度末に毎回十数通の不着が発生します。周辺で Newsletter を受信できていない方がいる場合は学会アドレスまで、ご連絡くださいますようお願いいたします。

(*今号は郵送でもお送りしています。)

【発行・編集】 福祉社会学会事務局